

平成 25 年度第 1 回理事会

日時：5 月 18 日(土) 15:00-19:00

場所：地震研究所 2 号館第 2 会議室

出席者：宇都浩三（会長）、井口正人（副会長）、中田節也、高田亮、金子隆之、寅丸敦志、中村洋一、藤田英輔、星住英夫、森俊哉 萬年一剛、山里平、大湊隆雄（以上 理事）、松島健（下司信夫理事代理としてオブザーバー参加）

議題

【報告事項＋審議事項】（審議が必要な事項については、そのつど審議）

庶務委員会（大湊）

- ・ 会員数 秋季学会以降の会員数について報告。総会終了後の会員数は、維持 270 名、学術 687 名、一般 39 名、団体 15、名誉 7 の計 1015 名であり、微かな減少傾向。
- ・ 新入会員の会員カード回覧（会長承認事項であり既に承認済み。確認のための回覧）。

予算委員会（森）

- ・ 平成 24 年度の財務報告（非収益事業、収益事業） → 承認
- ・ 平成 25 年度の予算計画 例年並みの内容 → 若干の追加・訂正後 承認
- ・ 通常事業で若干の赤字傾向が見られるので節約を意識すべき。現状では 10 年は続けられない。特別な事業のために通常事業を節約。新規事業のために既存事業の縮小など必要。
- ・ 予算書の項目を整理し、実態に合ったものにする。

編集委員会（寅丸）

- ・ 火山発行状況 57-4 号(2012 12/28 発行)、58-1 号(2013 3/29 発行)
- ・ 58-2 号（2013 年 6 月末予定）通常論文 5 件
- ・ 58-3 号（2013 年 9 月末発行予定）通常論文 2 件
- ・ 査読状況 8 編査読中（論説 6 編、寄書 2 編）
- ・ 桜島火山特集号向けに投稿されたが 58-1 号に間に合わなかった原稿は、査読に進んでいないので取り下げとする。
- ・ IAVCEI 巡検ガイドの編集状況が報告された。CD のみで冊子体の発行は無いので超過ページチャージは発生しない。
- ・ 巡検ガイドの超過ページチャージの有無は、内容によって判断することを確認。大会報告等に投稿されればページチャージ無。「解説・紹介」として投稿された場合は、ペ

ージチャージを課す。

IAVCEI 実行委員会（宇都）

- ・登録状況 早期一般 400、早期学生 400。総登録者総定数 1100-1300 名
- ・学術講演数 投稿 1330。口頭会場・ポスター会場とも拡充
講演総数 1291（口頭 677、ポスター614）。その他に基調講演 35
- ・募金状況 寄付金確定額 1264 万円、ブース出展料 235 万円 計 1500 万円。目標達成。
- ・トラベルグラント 途上国や若手研究者の補助。総額 1500 万円。募金額がほぼ全額これに回る。

将来計画委員会（宇都）

2012 年 11 月に委員会を開催。IAVCEI 終了時に会長声明。2016 年の学会 60 周年を目指し、中堅・若手による記念事業（「火山学の課題と方策」）の実施と臨時委員会として「火山学会 60 周年記念事業委員会」の設置を提案 → 承認

国際委員会（兼日本学術会議 IAVCEI 小委員会）（藤田）

- ・ IAVCEI2013 の準備状況について IAVCEI 実行委員会より報告
- ・学術会議 IAVCEI 小委員会で、IUGG 分科会報告、火山防災に関する報告があった。
- ・地球惑星科学連合国際委員会の動向について報告があった。ラクイア地震に対し、会長声明。
- ・ JpGU 国際委員会の報告

大会委員会（松島（下司代理））

- ・ 2013 年秋季大会

会場 福島県猪苗代町体験交流館 学びいな

LOC 磐梯山噴火記念館（佐藤）、防災科技研（棚田）、宇都宮大（中村）、茨城大（藤縄、長谷川）

共催 磐梯山ジオパーク協議会（猪苗代町、磐梯町、北塩原村）

日程 学術講演会 2013 年 9/29（日）-10/1（火）

9 月 29 日 午前、午後 一般講演

9 月 30 日 午前 一般講演、午後一般公演、臨時総会、各賞授与、夜 懇親会

10 月 1 日 午前 一般講演

参加予定 200 名、口頭 80 ポスター80

関連行事 9 月 27 日-28 日 現地討論会（男体、那須）

9 月 28 日 子供向け公開講座、防災シンポジウム

10 月 1 日-2 日 現地討論会（磐梯、吾妻）

磐梯山ジオパークツアー

- ・ 科研費による子供向け公開講座 12月14日 島原（林、佐藤）
- ・ 2014年 福岡大学（11月1日-11月3日） 巡検 雲仙、九重別府

他学会連絡担当（金子）

・ EPS 誌関係

火山学会より分担金 20 万円を支出。科研費採択により 5 年は安泰。入札により出版社をテラパブから他社に変更。レター重視のオープンアクセス雑誌に衣替えし、2014 年 1 月からオープンアクセス出版。

・ JpGU 誌関係

編集・運営委員 中田委員。科研費採択により 5 年は安泰。レビュー中心のオープンアクセス雑誌として 2014 年 1 月から出版。

事業委員会（星住）

報告

- ・ ロゴマーク普及の継続。T シャツ作成、販売。
- ・ 子供サマースクール 2012 糸魚川市 2012 年 8/18-19
- ・ 事業予定

IAVCEI2013 IAVCEI ロゴ T シャツ 500 枚、缶バッジ 4 種各 250 個、学会ロゴ T シャツの作成

第 14 回地震火山こどもサマースクール

伊豆半島 13 年 8 月 3-4 日。

地震、火山、地質 3 学会+伊豆半島ジオパーク の 4 者で実施。

子ども夢基金助成内定（84 万）、火山学会 20 万助成（地震学会 30 万、地質学会 20 万）

2014 年 島原、2015 年 南アルプスを予定

審議

- ・ IAVCEI2013HP を大会終了後に火山学会 HP に移設 → 承認
- ・ 学会 HP 管理を庶務係から事業委員会所掌に → 承認
- ・ こどもサマースクール担当の見直し → 事業・学校教育・ジオパークの 3 委員会で検討。

新委員会設置の提案（中田）

- ・ ジオパーク支援委員会の設置提案 → 常設委員会として承認。

学校教育委員会（萬年）

- ・ 報告事項無

防災委員会（中村）

- ・ 活動報告（シンポジウム開催等、教科書出版検討）
- ・ 防災委員会を常設委員会とする件は、提案書を作成し秋の理事会で議論することとなった。

各賞委員会（高田）

- ・ 各賞候補の報告（メール審議の確認）

火山学会賞 該当なし、

論文賞 及川他、

奨励賞 小園氏

- ・ 学会賞の在り方に関する議論

各賞委員会のありかた、学会賞の定義などを議論したが明確な結論は出なかった。

火山学会賞の対象分野（学術、啓発普及、防災・・・）を、公募文に載せる文案を各賞委員会が原案を作成。

各賞の受賞者数に関する内規を緩和することに合意（火山学会賞 1件→若干 など）。

以上